



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

**【対象となる方】**

2012/12/7～2014/6/30にご同意いただいた方

**【研究課題名】** 精神疾患患者末梢試料を用いたエピゲノム解析

**【研究責任者】** 岩本 和也（東京大学大学院 医学系研究科 分子精神医学講座）

**【本研究の目的及び意義】**

DNAメチル化などのエピゲノム状態は環境要因によって変動し、精神疾患の病態に深く関与していると考えられている。しかし、服薬の影響も受けると考えられているため、研究結果の解釈は困難である。本研究では、未投薬患者様の血液試料を用いたエピゲノム解析を行い、変動の有無を検討する。

**【本研究に提供している試料・情報】**

DNA

**【問い合わせ窓口】**

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)